



大学院生のための学術情報活用ガイダンス

主催：人科図書室

大学院生のための学術情報活用ガイダンスを行います。

内容は、人科図書室の案内、阪大で利用できる学術データベースの紹介、利用方法、総合図書館・生命科学図書館の活用法、文献検索の方法などです。今回は入門的概要を短時間で説明します。また人科図書室では毎週水・金の17:00-19:00に相談も受け付けていますので、詳しくはそちらもご利用下さい（予約: [mktb\[アットマーク\]tcct.zaq.ne.jp](mailto:mktb@tcct.zaq.ne.jp)）。

大学院生が身に付けるべき技能の第一はアカデミックな情報へのアクセスの仕方です。大阪大学は国立大学でも利用できる電子ジャーナル、データベースが豊富で、現在では、これらを使わない学術研究は考えられません。しかし、実際にはこうした媒体を使いこなせる大学院生は非常に少ないのです。この機会にぜひ、その入り口を経験して、今後の研究に役立ててください。

日時：2015年4月8日（水）午後5時～6時

場所：人科図書室（北館2階）集合

（データベースなどの解説は本館3階31教室で行います）

担当：諏訪敏幸（『看護研究者・医療研究者のための系統的文献検索概説』著者）

本件についてのお問合せ：

山中浩司（文化社会学）[yamanaka\[アットマーク\]hus.osaka-u.ac.jp](mailto:yamanaka@hus.osaka-u.ac.jp)

